

## 平成30年春の外国人叙勲

ロバート・フィリップス・コーカー・ジュニア米連邦上院外交委員長の旭日大綬章受章

2018年4月29日  
在米国日本大使館

2018年4月29日(日本時間)、日本政府は、平成30年春の外国人叙勲受章者を発表し、この中でロバート・フィリップス・コーカー・ジュニア米連邦上院外交委員長が叙勲されることが公表されました。同氏は、平成27年の安倍総理の訪米に際して、日米関係の重要性を認識する上院決議案を提出し、全会一致で可決させるなど連邦議会における対日理解の増進に寄与したほか、テネシー州における日本企業の活動を支援する等、日米関係の発展・深化に寄与した功績が認められ、旭日大綬章を受章することとなりました。

- ・賞賜: 旭日大綬章
- ・功績概要: 日本・アメリカ合衆国間の関係強化及び友好親善に寄与
- ・氏名: ロバート・フィリップス・コーカー・ジュニア (Robert Phillips Corker Jr.)
- ・主要経歴: 現 連邦上院外交委員長  
現 連邦上院議員
- ・住所(国籍): ワシントンDC (アメリカ合衆国)

コーカー外交委員長は、2006年、連邦上院議員選挙で初当選を果たし、2015年からは上院外交委員長という要職を務めています。昨年9月、次期上院議員選挙に出馬せず、2019年1月に終了する現在の任期限りで引退する意向を表明しました。

同委員長は、上院議員に当選して以来、常に日米同盟の重要性を主張し、2015年4月、安倍総理が日本の総理大臣としては初めてとなる歴史的な議会演説を行うのに先立ち、世界の安全・繁栄・人権の擁護に対する日米関係の重要性を認識する上院決議案を提出し、全会一致で可決させる等、議会における対日理解の増進に寄与してきました。また外交委員長として、北朝鮮問題に対する議論をリードする中で、同盟国である日本との協力の重要性を幾度となく強調する等、日米同盟の強い支持者であり続けています。

また、同委員長は、地元のテネシー州や米国経済に対する日本企業の貢献を深く理解し、米国での活動を支援し続けてきました。同委員長は、地元紙やウェブ等を通じて、日本企業による経済貢献について幅広く発信し、草の根レベルでの対日理解の増進に貢献し続けています。

上院外交委員長として、3年以上にわたって米国議会における外交問題に関する議論をリードし、米国の外交政策の形成に大きな影響力を有するコーカー外交委員長の旭日大綬章受章により、日米関係が一層発展・深化していくことが期待されます。

(了)